

柏市健康増進計画
平成26年度進捗状況報告書

平成27年6月
柏市

目次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	6
3	休養・こころの健康	12
4	喫煙	16
5	飲酒	20
6	歯・口腔の健康	22
7	糖尿病	29
8	循環器疾患	33
9	がん	37

【表の見方】

「事業名」：事業も内容も全て再掲であるもの
「*」：事業は再掲だが、内容は異なるもの
「※」：ライフステージ
「○」：該当
「△」：一部該当

1. 栄養・食生活

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度の取り組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				
					△	△	△	△	○	△			
保健所 地域健康づくり課	給食施設指導事業	個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談。) ・集団指導(テーマに応じた職種別、施設種別に研修会を開催) ・調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するための年2回調査実施。)	他課(学校保健課、保育運営課) ・柏市保健所管内集団給食研究会	・肥満及びやせの割合の減少 ・啓発媒体活用増加						H23 36件 H24 20件 H25 34件 H26 22件	平成28年度に各施設における肥満及びやせの割合を把握し、その結果を基として、平成27年度に該当者が6%以上増加している全ての施設に対し、指導・助言を行う。給食施設従事者研修会において、肥満及びやせの割合の把握の重要性を伝えていく。なお、平成27年度の実績値より増加している施設数を指標として用いていく。	各施設の割合変動を種別し、増加傾向にある施設や、該当割合が多い施設における改善対策の指導・助言を行う。喫食者への栄養指導が難しい施設で使用できる媒体を作成して個別指導を行い、きつかけづくりの支援に努める。	
学校教育 部保健 学校健康課	学校給食提 供事業(小学 校)	給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養分を習得する。また、栄養教育と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を習得することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少						H23 185回 H24 185回 H25 185回 185回	・各校の栄養士を中心として、食育に取り組んでいる。朝食の欠食率が減ってきた。 ・咀嚼に関することでは、歯科医師も授業にITとして参加し、「かむことの大切さ」を目標とした学習を展開した。 ・教育委員会の「学びづくりアロニティプロジェクト」に指定された学校では、特に食育に力を入れ、他校と比べ給食の残量が減っているという成果が出ている。 ・旧沼南地区の給食センターには栄養士がいなかったため、なかなか食育指導が難しいのが課題である。	課題となっている給食センターの食育指導は、センター在勤および学校保健課の栄養士が学校へ出向き、全校実施の方向で考えている。	
学校教育 部保健 学校健康課	学校給食提 供事業(中学 校)	給食を生きた教材として、生徒を対象に適切な摂取量の体得、成長に必要な栄養分を習得する。また、栄養教育と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を習得することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少						H23 180回 H24 180回 H25 180回 180回	・各校の栄養士を中心として、食育に取り組んでいる。朝食の欠食率が減ってきた。 ・教育委員会の「学びづくりアロニティプロジェクト」に指定された学校では、特に食育に力を入れ、他校と比べ給食の残量が減っているという成果が出ている。 ・旧沼南地区の給食センターには栄養士がいなかったため、なかなか食育指導が難しいのが課題である。	課題となっている給食センターの食育指導は、センター在勤および学校保健課の栄養士が学校へ出向き、全校実施の方向で考えている。	

- (1) 適正体重を維持するための知識の普及
- ① 成人女性のやせ(20歳代)[BMIが18.5未満]及び成人男性の肥満[BMI25.0以上]の減少
- ② 児童・生徒の肥満【標準体重の+20%以上】の減少
- ③ 体重の変化を気にしている人の割合の増加(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果。今後の課題と考察及び平成27年度 の取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス		
					幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期	
保健所 成人健 診課	健康づくり相 談	健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。		健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。	○	○	○	○	○	H23 147人	H24 139人	H25 132人	H26 88人	平成28年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、体重に關する相談があった場合に、その人に合った助言をしているのであって、このジャンルの知識を広く伝えたい(普及)とは考えにくく、対象も40歳以上である。	
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。	○	○	○	○	H23 105人	H24 132人	H25 145人	H26 210人	平成28年度も同様に継続予定である。 ※本事業は、健康診査が目的の第1である。対象者の特性から、フォローも慎重に進めていく必要がある。		

(2) 野菜の摂取量の増加

① 野菜摂取量の増加の割合(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)				平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	児童期	青少年期	成年期	高齢期	H23	H24	H25	H26		
保健所 保健 地域健康づくり 課	給食施設指導事業 (※)	個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談。) ・集団指導(テーマに絞った研修会、施設種別別、職研修会を開催。) ・調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するための年2回調査実施。)	・他課(学校保健課・保健所運営課) ・柏市保健所管内集団給食研究会	給食施設の食品構成における野菜摂取量の増加 ・野菜料理の残渣量の減少 ・ヘルシーメニューの提供増加 ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	36件	20件	34件	22件	個別指導や集団指導において、給食は喫食者が正しい食習慣を身に付け、より健康に必要生活を送るために機会であり、各施設において知識の普及に努めることが大切であることを伝えていく。	
					△	△	○	○	○	○	—	—	—	—		
保健所 保健 地域健康づくり 課	啓発事業	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	・庁内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポポチュレーションアプローチをすること で健康に関する気づきの場を作る。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6,109人	平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていたため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。従来の健康啓発と合わせた効果的な啓発が実施できた。平成27年度は、栄養・食生活関係の健康啓発も実施した上で、重点項目の「飲酒」「塩と口酸」については強化している。	
					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
経済産業部 農政課	食の安全・安心対策推進事業	市職員が農産物をサンプリングし、放射性物質検査を行う。また、検査結果についてホームページや広報などを通じて公表	・千葉県 ・㈱アトックス ・㈱技術開発センター	風評被害の防止	○	○	○	○	○	○	111品目 499検体	106品目 532検体	99品目 412検体	63品目 213検体	検査や生産者への助言等を通じて、引き続きの食の安全安心を確保していく。また、適宜、情報を発信することとで、風評被害の防止に取り組みしていく。	
					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

(3) 朝食を意欲した、バランスのよい食生活の普及

①朝食の欠食率の減少(成人)

②食事のバランス(主食、主菜、副菜の組み合わせ)のよい割合の増加(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					小学生	児童期	思春期	成年期	高齢期				
保健福祉部 地域健康づくり推進課	栄養改善事業	国が定めた「2次予防事業対象者把握事業」により選定された「低栄養ハイルリスク者」の中から、栄養個別相談の希望者に対して、自宅に訪問し、食生活のアセスメントから、栄養指導、栄養相談・調理実習の実践を経て、保ち、要介護状態の予防を図るもの	東葛地区在宅栄養士会 宅栄養士会 包括支援センター	低栄養の改善						○	平成28年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度後の取り組みについて 平成18年度から平成26年度まで国の定めた2次予防事業対象者把握事業として実施したが、対象者に対する利用率が低く、参加者個人のBMIの改善はみられなかったが、費用対効果は低い状況であった。 介護保険法改正に伴い、介護予防グループ支援事業のメニューとして「介護予防栄養講座」を展開する。		
保健福祉部 地域健康づくり推進課	母子保健食育	<ママパパ級>ママパパクッキング> >妊婦期の食生活支援 >離乳食のすすめ方 >母と子のつどい、歯ぐき・幼児健診> 栄養講話と個別相談		「バランスのとれた食事を規則正しくとる健康的な食習慣」を定着させるため、母子保健サービスタを活用し、健康づくりの意識づけをする。							○	各事業でバランスのよい食事の啓発。保護者を通して子どもを含めた家族の食事について意識付けができた。 平成26年度から、幼児健診で集団講話を実施。受診者の保護者へ、バランスのよい食事、野菜摂取についての啓発した。 食の関心の高まる離乳期の支援を強化し、正しい食生活への理解を深め、実践へつなげていく。(後期離乳食教室)	妊婦や乳幼児対象事業であるが、家族の健康づくりを目的とし、引き続き啓発していく。
保健福祉部 地域健康づくり推進課	栄養改善事業	・栄養士連携協議会(栄養改善・健康増進等の支援の推進を検討) ・健康づくり登録推進(健康づくりの取り組みを実施する飲食店の登録) ・栄養関係団体育成(栄養・健康づくりを担う関係団体の育成) ・栄養士養成校保健所実習における指導(地域栄養を担う従事者の育成) ・講演会の企画(食育推進研修会、健康講座(病態)) ・柏市地域栄養相談システム(システムの初実的運用) ・食品の特別用途表示、栄養表示基準指導	・柏市保健所 管内調理師会 ・柏市保健所 管内集団給食研究会 ・柏市医師会	関係課、関係団体との連携により食事のバランスのよい割合が増加							△	関係課、関係団体に向け食育推進研修会、調理師研修会を実施し、柏市健康増進計画の栄養・食生活の健康課題について周知、健康ちば協力店を活用した啓発(野菜ポスター、リーフレット配布)を行った。また、健康講座の実施や柏市のホームページで健康レシピを紹介したり、調理のポイントについて周知した。平成27年度は、引き続き、野菜採取の啓発と、重症化予防の観点からの医療機関の管理栄養士の協力により、病院のレシピを配布する。	関係課、関係団体と連携し、柏市健康増進計画の食の課題改善にむけ、周知、啓発を行う。 柏市地域栄養相談システムについて市民に周知できるよう、医療機関へ病院レシピを継続配布する。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)				平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					高齢期	後期高齢期	成年期	壮年期	児童期	H23	H24	H25	H26			
保健所 成人健 診課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	柏市医師会	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。							H23 105人	H24 132人	H25 145人	H26 210人	平成28年度も、同様 に継続予定である。 ※本事業は、健康診 査が目的の第1であ る。対象者の特性か ら、フォローも慎重に 進めていく必要があ る。	
こども部 保育運 営課	クッキング保 育	園児が種まきをする前 に、農作を願ひ集会を意欲 に、栽培～収穫への意欲 を育てる。保育園の園児 が、作物を栽培し、育て た作物と同じ野菜を利用 し、5歳児がクッキングを 行い食べる。	各公立保育士、 園の保育士、保 育の保育士と保 護司との連携 調理栄養士 ※一部の保 育園では、地 域住民との連 携有り。	自分たちで育て たものを、友達 と一緒に調理 し、食べる喜び を味わうこと で、食に関心を持つ							H23 22園 (5歳児全 員参加)	H24 22園 (5歳児全 員参加)	H25 22園 (5歳児全 員参加)	H26 22園 (5歳児全 員参加)	園児が自分たちで栽培・収 穫した野菜と同じ種類の野 菜を使用することで、栽培か ら調理までを関連付けて取 り組むことができた。また、 苦手な野菜など、調理方法 によって食べられることに気 が付き喜ぶ園児の成長の姿 が見られた。 園児が普段の給食にもより 意識が向けられるように調 理員との交流を増やしていく 。栄養士は、家庭での会話 や知識の普及につなげるよ うに食育を進めていく必要が ある。	家庭での会話や知識 の普及につなげるよ うな、クッキング保 育を継続していく。
生涯学 習部中 央公民 館	成人対象事 業「食育講座」	食に関する課題を踏ま え、講義や調理実習など をとおして、食に関する 知識や関心を高める。	—	豊かで健全な食 生活を実践でき る。							H23 1回 参加者 47人	H24 2回 参加者 45人	H25 2回 参加者 42人	H26 2回 参加者 59人	講座と実習のセット講座に 講義の割合が多かった。内容 を充実させ、引き続き実施し ていく。	継続実施予定

2. 身体活動・運動

(1) 運動習慣の定着

① 運動習慣者の割合の増加(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス								
					全世代	学童期	児童期	思春期	成年期				老年期							
地域づくり推進部 協働推進課	各種スポーツ教室の開催	<p><Jリーグ教室> 市内中学校23校の中学2年生を対象に、Jリーグ日本代表の選手選考に一斉に招き開催</p> <p><バスケットボール教室> 市内ミニバスケットボールチーム所属している小学生を対象に日立サンロッサズ/JX-ENEOSサンフアラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p><サッカー教室> 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p><ランニングクリニック> 市内在住・在勤・在学の方を対象に種水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	<p>JR東日本野球部</p> <p>日立サンロッサズ</p> <p>JX-ENEOSサンフアラワーズ</p> <p>YBC柏</p>	<p>市のスポーツを活かしたまちづくりの推進</p> <p>参加者の技術向上やホームタウンチームへの愛着を深めること</p>	○	○	○	○	○	<p>各スポーツ教室参加者合計</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>※ティール教室未実施</td> <td>1,357人</td> <td>832人</td> <td>689人</td> </tr> </table>	H23	H24	H25	H26	※ティール教室未実施	1,357人	832人	689人	<p>平成28年度の成長、今後の課題と考察及び平成27年度の取り組みについて</p> <p>平成26年度は各教室を開催し、689人の参加者となった。ホームタウンチームと連携した各種スポーツ教室については、結果として健康の増進に寄与している側面もあると思うが、基本的にはホームタウンチームと連携し教室を開催することで、参加者の柏市への愛着を深め、ホームタウンチームを活かしたまちづくりを推進することを目的としている。平成27年度についても上記の考え方に基つき事業を継続する。</p>	委員の評価・アドバイス
					H23	H24	H25	H26												
※ティール教室未実施	1,357人	832人	689人																	
保健福祉部 健康福祉課	<p>要介護状態に陥る可能性のある高齢者に対し、専門職が、個々の身体機能に応じた運動内容を助言し、実践する。</p>	○	○	○	○	<p>事業効果のあった参加者割合</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>67%</td> <td>88.40%</td> <td>73.10%</td> <td>86.00%</td> </tr> </table>	H23	H24	H25	H26	67%	88.40%	73.10%	86.00%	<p>介護予防意識の高まりにより一定の効果はあるものの、対象者が限定的な事から、身近な地域で参加できる介護予防教室に力を入れたい。平成26年度は平成27年度より、平成28年度まで継続して実施する。</p>					
H23	H24	H25	H26																	
67%	88.40%	73.10%	86.00%																	
保健福祉部 健康福祉課	<p>市民の身近な地域において、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防に関する啓発と運動指導を行う。</p>	○	○	○	○	<p>ロコモフィット参加者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>127人</td> <td>537人</td> </tr> </table>	H23	H24	H25	H26	—	—	127人	537人	<p>実施会場の拡大だけでなく普及啓発事業にも注力したことにより、認知度が高まり、参加者数が大幅に増加した。また、参加者の多くに、運動器の機能や移動能力の改善がみられた。平成27年度は、前期後期併せて年間22回(1会場あたり10回)670人の事業参加者を計画し、実施中である。</p>					
H23	H24	H25	H26																	
—	—	127人	537人																	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加者率等)	平成26年度取組の成果、今後の課題と考察及び平成27年度の取組について	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					幼少期	学童期	児童期	青年期				
保健所 地域健康づくり課	地域ウォーク	＜地域ウォーク＞ 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォークを始める。ウォークを始めるきっかけづくりを図る。手賀沼ふれあいウォーク＜＞ 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。	・柏市民健康づくり推進員 ・市民ウォーク団体 ・千葉県ウォーク協会 ・我孫子市	・歩くことが好きな市民が増える ・市民が運動を始めるきっかけとなる。	○	○	○	△	地域健康講座(ウォーク・手賀沼ふれあいウォーク実施状況) H23 H24 H25 H26 19回 13回 18回 16回 地域健康講座実施回数 594人 239人 274人 235人 手賀沼ふれあいウォーク参加者数 1回 1回 1回 1回 手賀沼ふれあいウォーク実施回数 982人 864人 773人 842人 地域健康講座(ウォーク以外の運動)実施状況 H23 H24 H25 H26 1回 2回 4回 7回 実施回数 53人 118人 98人 257人 参加者数	地域の実情に合わせ、引き続き地域ウォーク・ウォーク講座の実施、ウォークマップの作成をしていく。平成27年度の検討をもとに、事業を展開していく。	委員の評価・アドバイス	
保健所 地域健康づくり課	地域運動講座	柏市民健康づくり推進員が主催するウォーク以外の運動講座	柏市民健康づくり推進員	・市民が運動を始めるきっかけとなる。 ・市民の運動時間が増える。	○	○	○	○	運動に取り組むきっかけづくりとなったと考える。さらなる参加者の向上のため、啓蒙の強化や地域に合った対象者の設定と内容の工夫を行っていく必要があると考える。	運動習慣や運動時間の少ない地域などの実情に合わせた対応を考慮していく。		
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	・庁内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなコンテンツを用意し、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。これまでの健康教育は、依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていたため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。従来の健康教育と合わせた効果的な啓発が実施できた。平成27年度は、身体活動・運動関係の啓発も実施した上で、重点項目の「飲酒」「煙草と口唇」については強化していく。	各イベント等を活用し、幅広いライフステージに対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせ重点とする場や内容を選択しながら実施する。		
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。	—	スポーツ施設利用者数の増加	○	○	○	○	利根運動広場と柏の葉運動広場を、平成26年度から運動場としての位置づけに変更した。	システムを継続して運用していく。		
生涯学習部 スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。	市内各小中学校	利用者数の増加	○	○	○	○	平成26年度のホームページ更新により、平成27年度申請から書類をインターネット上で入手できるようにする。	市立学校全てで学校開放が実施となったため、継続していく。		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取組の成果、今後の課題と考察及び平成27年度取組について	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期				
生涯学習部スポーツ課	スポーツ推進委員活動	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加とスポーツ実施率の向上					スポーツ推進委員活動参加者数 H23 3,450人 H24 4,336人 H25 2,876人 H26 2,528人	推進委員のスキルアップを目的とし、県教育長職員による特別講習を実施した。平成27年度には、推進委員の募集を行い活動の充実を図る。	継続して実施する。	
生涯学習部スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する視点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知らせてもらうための広報活動を支援する。	市内総合型地域スポーツクラブ	市内クラブの会員数の増加					市内クラブ会員数 H23 1,206人 H24 875人 H25 1,131人 H26 985人	各団体の活動場所について調整を行うとともに、広報活動により参加者の募集を行った。	継続して実施する。	
生涯学習部スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他、体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催する。	・柏市体育協会 ・柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加	○	○	○		スポーツ教室・講習会参加者数 H23 2,299人 H24 2,085人 H25 3,024人 H26 3,374人	平成26年度から、柏市の事業であった親子体操教室を、指定管理者の事業として実施している。平成27年度からオリンピックピック・パラリンピックに向けた講演会を実施する。	オリンピック・パラリンピックが近づくにつれ、市民の関心も高まるので、継続して実施する。	
生涯学習部スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	・柏市体育協会 ・柏市家庭婦人スポーツ協会 ・スポーツ少年団	交付団体の市民大会などの参加者の増加					交付団体の市民大会などの参加者数 H23 37,757人 H24 35,809人 H25 49,472人 H26 46,021人	補助金の交付により、各種スポーツ事業の開催をスムーズに行うことが出来ている。施設の規模等からすると、現状の参加者数が限度と考えられる。	継続して実施する。	
生涯学習部スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	・柏市体育協会 ・柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加					新春マラソン大会参加者数 H23 2,142人 H24 2,268人 H25 中止 H26 1,421人	新たな広報手段を活用しPRを行った。平成27年度は参加料の見直し等を検討する。	広報活動を積極的に実行しながら、今後も継続して事業を実施する。	
生涯学習部スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	・柏市体育協会 ・柏市スポーツ推進委員協議会 他	参加者の増加					手賀沼エコマラソン大会参加者数 H23 7,958人 H24 8,017人 H25 7,768人 H26 7,822人	例年募集を超える応募があり、今後の参加者数の増加は無いと考えられる。平成27年度からは、申込方法をインターネットに一元化する。	継続して実施する。	
生涯学習部中央公民館	成人教育事業「いきいき健康ライフ講座(ウォーキング)」	運動をおおして健康の増進を図る方法を学ぶ。	ウォーキングサポート柏	運動することの喜びや運動に対する達成感を味わう。	○	○	○		いきいき健康ライフ講座参加者 H23 11人 H24 10人 H25 8人 H26 7人	募集人数30人に対し参加者が7人と少なく、日時等を含めて講座立案を行っていく予定。	平成27年度の実施状況により見極めていく。	

所管課	学校教育 部 指導課	事業名	学校の体育の 促進関連専 業	事業概要 (対象者・内容等)	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目 ②「小学校体育授業サポ ート事業」 小学校10校・特別支援学 校を中心とした体育の授 業支援 ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動部 活動指導者の派遣	連携機関	千葉県小中 学校体育連 盟柏支部	期待する効果	①児童生徒の 体力向上 ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上 ③運動部活動 に加入している 生徒の意欲・技 能の向上	ライフステージ	乳幼児期 学童期 児童期 思春期 成年期 壮年期 高齢期	(実施回数・参加者数・参加率等) 実績値	①全国平均を上回る項目 H23 H24 H25 H26 61.8% 54.2% 62.5% 52.1%	平成26年度取り組みの成果、今 後の課題と考察及び平成27年度 の取り組みについて	平成28年度方向性	委員の評価・アドバイス
												①平成26年度は平成24年 度よりも全国を上回る項目 が減少した状態に陥ってし まったのが現状である。平 成27年度は平成26年度に引 き続き握力と投力を高める 取り組みを重視し、継続的 に実践していく等の工夫を 促していきたい。 ②この事業における授業の 支援を市内の大半の学校が 希望しているが、10校の学 校にしかスタッフが配置でき ないのが現状である。よって 配置を決めるにあたっては 適切な配置となるよう各校 の状況を見極め、教育研究 所とも協議して最大限の効 果があげられるよう運用し ていきたい。 ③派遣された学校では効果 的に活用されているが、指 導者の高齢化が心配点であ る。また、勝利至上主義等に より体罰や不適切な指導が 起きないよう、指導者の意識 を高めるべく、学校と連携し て取り組んでいきたい。	①分析ソフトの活用 による綿密な実態把 握と好事例の周知に より、全国平均値を上 回る項目70%を継続 して目指す。 ②配置校における満 足度100%を継続して 目指す。 ③生徒の意欲・技能 及び体力の向上等を 図るとともに、より安 全・安心な部活動運 営ができるよう運動部 活動指導者への啓発 を行う。			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果、今後の課題と着察及び平成27年度の取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス																													
					幼児期	学童期	思春期	成年期					高齢期																												
学校教育部 教育研究所	幼児教育の推進(柏市幼児教育共同研究)	幼児教育の今日的課題をもち、研究テーマ(運動遊び)を設定し、教育委員会と市内全幼稚園・全保育園が共同で実践研究を実施。	教育委員会 市内全幼稚園 市内全保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の力量と専門性の向上 ・幼児の体力・運動能力の基礎を培う。 					<table border="1"> <tr> <th colspan="4">実施幼稚園数</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>34園</td> <td>34園</td> <td>33園</td> <td>33園</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実施幼稚園児数</th> </tr> <tr> <td>5,872人</td> <td>5,752人</td> </tr> <tr> <td>5,804人</td> <td>5,633人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実施保育園数</th> </tr> <tr> <td>10園</td> <td>41園</td> </tr> <tr> <td>38園</td> <td>51園</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実施保育園児数</th> </tr> <tr> <td>318人</td> <td>1,733人</td> </tr> <tr> <td>1,616人</td> <td>1,866人</td> </tr> </table>	実施幼稚園数				H23	H24	H25	H26	34園	34園	33園	33園	実施幼稚園児数		5,872人	5,752人	5,804人	5,633人	実施保育園数		10園	41園	38園	51園	実施保育園児数		318人	1,733人	1,616人	1,866人	<p>平成26年度取り組みの成果、今後の課題と着察及び平成27年度の取り組みについて</p> <p>平成26年11月22日には、共同研究が始まって節目の5年目として、柏の葉公園総合競技場において、「みんなで遊ぼう60分!!」という啓発イベントを開催した。各園で準備した遊び場ブースでは、親子で運動遊びを楽しむ姿が、たくさん見られた。当日の来場者数は、13,000人であった。</p> <p>また、夏季休業中に幼稚園・小中学校教員対象の夏季研修講座では、「体づくり・人間関係づくり・学級づくり」と題した運動遊びを中心とした講座を開催した。</p> <p>さらに、例年どおり、各園の実践報告をまとめ、年度末に研究発表大会を開催した。</p> <p>課題としては、園による取組の差が大きいことである。そのため、主任会・副園長会等を活用し、年度当初から具体的な取組方法を研修していく。その中で、新設の園や取組方が少ない園にも啓発していく。</p>	<p>研究成果の蓄積を生かしながら、子どもたちが楽しく体を動かしながら、さまざまな動きを身につけ、運動能力の向上を図ることができよう。運動遊びの実践を広げていきたい。</p>
実施幼稚園数																																									
H23	H24	H25	H26																																						
34園	34園	33園	33園																																						
実施幼稚園児数																																									
5,872人	5,752人																																								
5,804人	5,633人																																								
実施保育園数																																									
10園	41園																																								
38園	51園																																								
実施保育園児数																																									
318人	1,733人																																								
1,616人	1,866人																																								

(2) 身体活動・運動に取り組みややす環境づくり
 ①1日の歩行時間の増加(成人)
 ②地域活動やボランティア活動への参加意識向上(成人)

所管課	事業名 * 担当部署	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)				平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス	
					高齢期	若年層	子育て期	壮年期	高齢期	実施回数	H23	H24	H25			H26
保健所 地域健康づくり課	発券事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	・庁内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなアクションプログラムを実施することによって健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	—	—	—	—	6,019人	各イベント等を活用し、幅広いライフステージに対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせ重点とする場や内容を選択しながら実施する。	
		地域ウォーク (*)	<地域ウォーク>講座 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォークを始めるきっかけづくりを図る。 <手賀沼ふれあいウォーク> 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。	・柏市民健康づくり推進員 ・市民ウォーク団体 ・千葉県ウォーク協会 ・我孫子市	・歩くことが好きな市民が増える。 ・市民が運動を始めるきっかけとなる。	○	○	○	△	19回 594人	13回 239人	18回 274人	16回 235人	地域健康講座実施回数 手賀沼ふれあいウォーク実施回数 1回 1回	地域の事情に合わせ、引き続き地域ウォーク、ウォークマップの作成をしていく。平成27年度の検討をもとに、事業を展開していく。	
生涯学習部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動 (*)	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	参加者増加とスポーツ実施率の向上						982人	664人	773人	842人	スポーツ推進委員活動参加者数 H23 3,450人 H24 4,336人 H25 2,876人 H26 2,528人	継続して実施する。	

3. 休養・こころの健康

①睡眠による十分な休養の確保											
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少(成人)											
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	ライフステージ				期待する効果	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス
				4.01期	学童期	児童期	成年期				
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動	＜出前講座＞ こころの健康について講座形式で正しい知識の普及及び啓発を行う。 ＜市民講座＞ 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及及び啓発を行う。	—					より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。	市民講座は直接睡眠をテーマに実施はしていないが、出前講座メニューの一つであるストレスについて依頼があったので、良質な睡眠にも引き続き、内容に応じた情報提供をしていく。	平成28年度 継続実施予定	
②上手なストレス解消											
①ストレスを感じた人の割合の減少(成人)											
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	ライフステージ				期待する効果	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス
				4.01期	学童期	児童期	成年期				
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動 (*)	＜出前講座＞ こころの健康について講座形式で正しい知識の普及及び啓発を行う。 ＜市民講座＞ 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及及び啓発を行う。	—					より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。	市民講座は直接ストレスをテーマに実施はしていないが、出前講座メニューの一つであるストレスについて依頼が2回あった。平成27年度も引き続き、必要時ストレスについての正しい知識について伝えていく。	平成28年度 継続実施予定	
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等	＜こころの健康相談＞ 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—					精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。	面談や訪問は昨年度より減少したが、電話相談は増加傾向が続いている。平成27年度も身近な電話相談に随時対応していく。また、家族や支援者も含め上手なストレス解消のアドバイスを行っていく。	平成28年度 継続実施予定	
こども部 子育て支援課	子育て支援課	市民ボランティアが6歳から1歳未満の子に 対し、親子の優しいことばかけやふれあい 活動の充実や言葉 の発達に大切であり、絵本を介することにより やすくなること伝える。親子で絵本を開く楽しい体験をしていただき、絵本をお渡ししている。	・柜市ふれあいブックスタ ートの会 ・子育て支援課 ・地域健康づくり課					絵本を通じ、親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり、子ども豊かな心を育む。 ことばかけやふれあいにより、愛される経験、守られている経験を通じた安心感の醸成につながる。絵本の読み聞かせを通じ、乳幼児の健全な成長を図る。	精神科区による相談数(回数) H23 H24 H25 H26 60件 55件 65件 48件 職員による面談や訪問(延数) 1,319件 1,682件 1,694件 1,288件 電話相談 4,410件 5,890件 6,797件 7,248件 ブックスタート実施数 H23 H24 H25 H26 3,542人 3,421人 3,203人 3,354人	平成27年度の協議検討結果に基づき、平成28年度の方向性を決定する。	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス		
					乳幼児	学童期	児童期	青年期	高齢期	H23	H24			H25	H26
こども部 子育て 支援課	地域子育て 支援拠点事 業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場を開設し、子育てについて相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)	—	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。	○					99,965人	120,719人	115,200人	117,382人	前年と比べ延利用者数は伸びた。交流等の増えているものと考えられる。しかし、平成25年度に実施した調査においては、利用率については低い結果となっていることから、周知等の工夫を行うとともに、柏市子ども・子育て支援事業計画に基づく整備(増設)について検討すること。また、質の向上を図ることを目的に、事業に従事している者に対して研修の機会を提供する。	柏市子ども・子育て支援事業計画に基づく整備を行う予定。また、継続して研修機会を確保する。
					○	○	○	○	○	—	—	—	—		
生涯学 習部 中央館 民館	成人教育事 業 現代課題講 座全2回 (健康づくり) 「笑いヨガ」	成人を対象とした2部構成の講座の第1部、人間の自然治癒力と笑いについて学び、大いに笑って免疫力を高めて健康を高めよう。第2部は落語を鑑賞する。	—	笑いの効果を感じ、生活の中で笑いを取り入れることで健康で長生きをする。	○	○	○	○	1回 参加者 172人 応募者 180人	—	—	—	—	—	—
					○	○	○	○	—	—	—	—	—		
生涯学 習部 中央館 民館	地域づくり事 業 現代課題講 座全4回 「中高年さわ やかハッピー 一人生!!」	成人を対象とした2回の講座をテーマとした2回の講座の第1部、笑いとヨガの呼吸法を取り入れて声を出して笑うことにより新しい趣味を体内に取り入れ、笑いを一つのエクササイズとする。第2部は股関節柔軟体操	—	15分から20分笑い続けることによりリラックスして健康効果を得る。	○	○	○	○	—	1回 参加者 48人 応募者 97人	—	—	—	—	—
					○	○	○	○	—	—	—	—	—		
生涯学 習部 中央館 民館	地域づくり事 業 現代課題講 座全4回 「中高年さわ やかハッピー 一人生!!」	成人を対象とした4回講座の第3回。「ストレスと向き合う」をテーマにストレスを減らすリラクゼーション法として笑いのヨガの実技を行う。第1回「健康で長生きするための知恵」第2回「健康・生きがい作りの気づきあれい」「くすりとりの賢い付き合い方」第4回「日本の調べ」先人の生き方に学ぶ	柏市生涯学 習部 ア ー ナ	ストレスについて学び、日々溜まるストレスを減らすリラクゼーション法を実践し、脳・心・体の疲労をケアしていく方法を学ぶ。	○	○	○	○	—	1回 参加者 25人 応募者 81人	—	—	—	—	—
					○	○	○	○	—	—	—	—	—		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取組の成果 後の課題と考察及び平成27年度 の取組について	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス			
					乳幼児期	学童期	児童期	成年期					高齢期		
生涯学習部 中央公民館	高齢者教育 事業 かたくり学級 (前期)全5回 「健康でいき いき人生」	高齢者に積極的に学習 の場に参加してもらった ため、多分野にわたり新鮮 な情報を提供し、健康で 明るい暮らしや生きがい を探しを支援する。	—	・生きがいづくり や仲間づくり ・健康維持・増 進を図り、健康 で楽しい日々を 過ごせる。					○	H23 4回 参加者 203人	H24 5回 参加者 226人	H25 5回 参加者 211人	H26 5回 参加者 157人	継続実施予定	継続実施予定
	生涯学習部 中央公民館	家庭教育事 業 「子育てを考 える親の集 い」	柏市私立幼稚園協会	子育て中の親 子の孤立や子 育に対する不 安の解消							H23 —	H24 1回 参加者 320人	H25 1回 参加者 381人	H26 1回 参加者 262人	継続実施予定
生涯学習部 中央公民館	地域づくり事 業 現代課題講 座「老いと健 康の講演会」	第一部では、阿部小児 科医院の阿部正視院長 より「10歳若返る健康法」 をテーマに、第二部では 原瀬整形クリニックの原 瀬祥夫院長より「人生ほ けず元気に歩こう」を テーマに抗加齢運動に ついて学ぶ。	総合型地域 スポーツクラ ブ 高田俱樂部	地域住民が暮ら しやすい地域社 会を築き、健康 で豊かな人生が 送れる。						H23 —	H24 —	H25 —	H26 1回 参加者 80人 応募者 103人	平成27年度の状況を 見極め、事業を継続 しながら、柏市の現状 に合った事業のあり 方や他事業の連携 等、実施方法を検討 していく。	平成27年度の状況を 見極め、事業を継続 しながら、柏市の現状 に合った事業のあり 方や他事業の連携 等、実施方法を検討 していく。
	生涯学習部 沼南公 民館	高齢者教育 事業 いきいきせき な一「生涯課 員、人間力 向上」	「生涯課員、人間力向上」 をテーマに高齢者が健 康でより充実した豊かな人 生を送るため地域の方々 と交流を深め、互いに 学ぶことにより、良質な 人間関係を築き社会的 能力を高め、めまぐるしく 移り変わる社会に順応で きる能力を養う。	講座で学んだこ とを、生活の中 で取り入れても らい、健康で長 生きをする。							H23 6回 121人 90%	H24 —	H25 —	H26 —	受講者の意見を取り入れな がら、生活に役立つ実技か ら地域の歴史探訪まで、高 齢者の抱える課題解決をめ ざし、多岐にわたる学習を展 開した。受講者同士の交流 を図ることもでき、地域づく りに寄与できた。平成27年度 も引き続き、同様の事業を し、1.5倍の応募があった。

(3) 自殺予防対策

③ 自殺者数の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取組みの成果、今後の課題・考察及び平成27年度への取組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				
保健福祉部 保健福祉総務課	自殺予防対策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡協議会を開催	庁内関係部署 ・柏市医師会 ・民生委員児童福祉協議会 ・柏警察署 ・千葉大学 ・柏商工会議所 ・柏労働基準監督署 ・柏市社会福祉協議会等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	H23 70人 H24 78人 H25 73人 H26 未確定	平成26年度は、年2回自殺予防対策連絡協議会を開催し、各団体間の情報共有を図ることが出来た。自殺予防27年度については、自殺者数の減少を目的として、自殺予防対策連絡協議会を開催し、情報共有のみならず、方針や方向性を議論する場としても活用していく。	平成28年度も継続的に実施し、自殺対策を推進していく。	
保健福祉部 保健福祉総務課	千葉県地域緊急自殺対策基金 自殺対策強化事業	各分野ごとに施策を実施するワーキンググループ(地域、労働、教育、医療)を中心に相談支援事業、普及啓発事業、人材育成事業、調査研究事業、自死遺族支援事業を実施	・柏市医師会 ・柏市社会福祉協議会 ・千葉大学 ・千葉福祉法人等	自殺者の減少	○	○	○	○	○	H23 70人 H24 78人 H25 73人 H26 未確定	平成26年度は、相談窓口設置、アンケート、研修、企業のメンタルヘルス対策、教員向け、医療従事者向けの研修を継続して実施した。平成27年度については、推進体制の見直しを図り、各分野を連携して、自殺対策を推進できるようにする。	平成28年度は、柏市の地域特性に合わせた自殺対策を各分野で連携した活動を実施していく。		
保健福祉部 保健福祉総務課	本人・家族の相談・訪問支援等 (*)	<こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し、生活の質の向上を目指す。	○	○	○	○	○	精神科医による相談数(回数) H23 60件 H24 55件 H25 65件 H26 48件 職員による面談や訪問(延数) 1,319件 1,682件 1,694件 1,288件 電話相談 4,410件 5,890件 6,797件 7,248件	面談や訪問は昨年度より減少したが、相談内容は多岐に渡り複雑化している。より多くの関係機関と連携を取り、きめ細かな支援が必要である。電話相談は増加傾向が続いているため、平成27年度も身近な電話相談に随時対応し、こころの健康相談を行い必要時間関係機関につないでいく。	継続実施予定		
保健福祉部 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	・庁内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなアプローチで健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H23 — H24 — H25 — H26 6,109人 啓発実施者数(対象者、こころの健康) H23 — H24 — H25 — H26 500人	平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていたため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。従来の健康啓発と合わせた効果的な啓発が実施できた。平成27年度は、休養・こころの健康の啓発も実施した上で、重点項目の「飲酒」「煙と口腔」については強化していく。	各イベント等を活用し、幅広いライフステージに対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせた重点とする場や内容を選択しながら実施する。		

4. 喫煙

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取組の成果、今後の課題と考察及び平成27年度取組について	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	老年期												
保健所 地域健康づくり 課	タバコ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモッズ子作戦協議会協議 ・禁煙補助剤体験事業 ・柏ノースモッズ子作戦出張講座 ・タバコ講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・柏市医師会 ・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉 ・学校 ・PTA ・私立幼稚園協会 ・商工会議所 ・主任児童委員 ・柏市民健康づくり推進員 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙をする市民が増える。 ・喫煙をしない市民が増える。 ・学校の周囲で喫煙する大人が減る。 	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>97人</td> <td>H24</td> <td>239人</td> <td>H25</td> <td>203人</td> <td>H26</td> <td>64人</td> </tr> </table>	H23	97人	H24	239人	H25	203人	H26	64人	<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモッズ子作戦出張講座の際、保健所職員による生活習慣病予防の啓発を盛り込んだ。 ・今後は出張講座全校実施へ向けた、依頼しやすい体制の整備を図っていく。 ・小学4年から中学3年を対象に各学年に合わせた「柏ノースモッズ子新聞」を発行。引き続き年間5回を発信していく。 	出張講座全校実施へ向けた、依頼しやすい体制の整備を図っていく。	
		H23	97人	H24	239人	H25	203人	H26	64人												
<ul style="list-style-type: none"> ・柏ノースモッズ子作戦協議会協議 ・禁煙補助剤体験事業 ・柏ノースモッズ子作戦出張講座 ・タバコ講演会 ・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園協会 ・商工会議所 ・主任児童委員 ・柏市民健康づくり推進員 	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコの害や受動喫煙について正しい認識を持つ大人の増加 	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>—</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>H26</td> <td>1回</td> </tr> </table>	H23	—	H24	—	H25	—	H26	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園協会加入の園33園の保護者へ、受動喫煙についてのリーフレットを配布した。 ・引き続きリーフレットを配布していく。 	たばこの害や受動喫煙について正しい認識をもてるよう、効果的な啓発をしていく。				
H23	—	H24	—	H25	—	H26	1回														
保健所 地域健康づくり 課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係 	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなアクションプログラムを実施することによって健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>—</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>H26</td> <td>6,109人</td> </tr> </table>	H23	—	H24	—	H25	—	H26	6,109人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。 ・これまでの健康教育は、依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていたため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。 ・従来の健康教育と合わせた効果的な啓発が実施できた。 ・平成27年度は、喫煙関係の啓発も実施した上で、重点項目の「飲酒」「歯と口腔」については強化していく。 	各イベント等を活用し、幅広いライフステージに対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせ重点とする場や内容を検討しながら実施する。		
H23	—	H24	—	H25	—	H26	6,109人														

(2) 受動喫煙の防止
① 受動喫煙の機会を有する人の割合の減少(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児期	学童期	児童期	青年期	高齢期			
地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモス子作職協 議定会議 ・柏ノースモス子作職出張講座 ・タバコ講演会 ・禁煙・分煙ありがとう店登録店制度 ・幼稚園協会保護者向けリーフレット作成	・柏市医師会 ・柏市歯科医師会 ・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉県 ・商工会議所 ・環境サービスクラス ・地域支援課	受動喫煙による健康被害の減少	○	○	○	○	○	H23 — H24 230店 H25 223店 H26 171店	平成28年度の方向性 受動喫煙による被害を減少できるような飲食店等の登録管理ができる。	
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	・庁内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなアクションプログラムを実施すること で、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	H23 — H24 — H25 — H26 6,109人	平成28年度の方向性 各イベント等を活用し、幅広いライフステージに対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせ重点とする場や内容を検討しながら実施する。	
環境部 環境サービス課	ほい捨て等 防止事業	柏市民・来訪者に対し、ほい捨て・路上喫煙等防止や条例周知を目的に、路上喫煙等防止パトロール・横断幕の設置、広報紙・ほい捨て防止啓発キャンペーン・駅前アナウンス放送等を実施する。	—	ほい捨て、路上喫煙・歩行喫煙者の減少	△	○	○	○	△	H23 806件 H24 301件 H25 326件 H26 169件	平成28年度の方向性 ほい捨て、路上喫煙・歩行喫煙者の減少に向け、条例周知に努める。	

③ 禁煙の支援													
① 禁煙達成率(成人)													
② 成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率													
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期				高齢期
保健所 地域健康づくり課	タバコ対策 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙補助剤体験事業 禁煙外来をHPで公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 柏市薬剤師会 柏市医師会 	禁煙する市民が増える。							<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度の取り組みについて 薬剤師会と共催で、禁煙補助剤体験事業を実施したが、申込者及び体験者数が減少。体験による効果がほとんどないことがわかった。薬剤師会で禁煙支援薬局を設け、薬剤師会と連携し、周知協力する。 	禁煙を希望する者が禁煙につながるようなサポート体制を充実する。	
		<ul style="list-style-type: none"> 禁煙外来をHPで公開する。 禁煙補助剤体験申し込み者に一瞥を渡す。 柏市国保特定健診受診者へ啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> 柏市医師会 保険年金課 	身近な医療機関で保険による禁煙指導が受けられることを知る。ことができる。					<ul style="list-style-type: none"> 市内禁煙外来実施医療院数 	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙外来をHPで公開する。 禁煙補助剤体験申し込み者に一瞥を渡す。 柏市国保特定健診受診者へ啓発する。 	禁煙を希望する者が禁煙につながるようなサポート体制を充実する。		

5. 飲酒

①「生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認識率の増加(成人)」													
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度への取り組みについて	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	児童期	思春期	成年期				壮年期
保健所 地域健康づくり 課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食生活に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	市内関係各課・相市民健康づくり推進員及び各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなテーマで健康づくりをすること、健康に関する気づきの場を作る。								平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。これまでの健康教育は、依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていたため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。従来の健康教育と合わせた効果的な啓発が実施できた。平成27年度は、重点項目の「飲酒」「喫煙」と関連して強化していく。	委員の評価・アドバイス

②「健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止」

①「毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少(成人)」													
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度への取り組みについて	委員の評価・アドバイス	
					乳幼児期	学童期	児童期	思春期	成年期				壮年期
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (※)	〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談 〈アルコール・デイケアアクラブ〉 アルコール依存者を対象に酒害教育やミーティングを通して新たなライフスタイルの形成を図る。 〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをおこなって依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。 〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自問自答の効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。	柏断酒新生会	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができ。								平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度への取り組みについて	委員の評価・アドバイス
												アルコール相談やアルコールデイケアアクラブ等参加者の減少傾向があり、平成26年度にアルコール事業の見直しを図った。平成27年度は、関係機関と連携して正しい飲酒についての啓発を強化し、減酒プログラムを活用したアルコール相談の充実を図る。また、酒害教室はミーティングだけでなく、公開講座を取り入れ、より参加しやすい教室を目指す。	委員の評価・アドバイス

③未成年者の飲酒防止																																						
①未成年者の飲酒経験率の減少(小学生・中学生・高校生・高校生)																																						
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果、今後の課題と発掘及び平成27年度 の取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス																									
					小学生	中学生	高校生	大学生	社会人					高齢者																								
保健所 地域健康づくり課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーアクションプログラムを実施すること で健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	△	△	△	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">啓発実施者数(全数)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">6,109人</td> </tr> <tr> <th colspan="3">啓発実施者数(飲酒)</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">0人</td> </tr> </table>	啓発実施者数(全数)			H23	H24	H25	—	—	—	6,109人			啓発実施者数(飲酒)			H23	H24	H25	—	—	—	0人			<p>平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。これまででの健康教育は、依然を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていて、関心度の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作る事ができた。従来の健康教育と合わせた効果な啓発が実施できた。平成27年度は、重点項目の「飲酒」並と口腔」について強化していく。</p>	<p>各イベント等を活用し、幅広いライフステージの市民に対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせ重点とする場や内容を選択しながら実施する。</p>	
啓発実施者数(全数)																																						
H23	H24	H25																																				
—	—	—																																				
6,109人																																						
啓発実施者数(飲酒)																																						
H23	H24	H25																																				
—	—	—																																				
0人																																						

6. 歯・口腔の健康

所管課	事業名 *は保健事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取組みの成果 後の課題と考察及び平成27年度 の取組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス								
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期							
保健所 地域健康課	子育て支援 事業(母と子 のつどい)	妊婦、1歳6月児からいま までの乳幼児と保護者を対 象に、市内20地域で実施 (歯・口腔)に関するフロン ト啓発、歯科相談)	柏市民健康つ くり推進員	・甘味食品や飲料 を習慣化する 児の割合の減 少 ・歯みがき(仕上 みがき)の習慣 化	○						H23 9,499人	H24 6,543人	H25 6,710人	H26 6,189人	平成26年度より、むし歯予 防の啓発として、フッ化物配 合歯みがき剤の積極的な活 用について、啓発強化を図 った。あわせて保護者へも 家族ぐるみで「健康づくり」に 取り組めるむし歯予防啓発 を図る。	妊産婦から「マイナス 1歳からのむし歯予防 」をテーマに家族ぐる みで「健口づくり」に取 り組めるよう、産婦人 科、小児科など歯科 関連以外の関係機関 との連携を図り、効果 的に予防啓発の強化 を図っていく。					
保健所 地域健康課	2歳の歯☆ピ カランド及び フッ化物歯 面塗布事業	<歯☆ピカ> 2歳児の親子を対象に食 生活を含むむし歯予防 の啓発及び歯みがき指 導 <フッ化物> 2.5歳対象に医療機関に てフッ化物歯面塗布によ るむし歯予防事業(無料 受診券全対象者郵送)	・柏歯科医師 会 ・柏市医師会	・フッ化物配合 歯みがき剤の利 用率の増加 ・かかりつけ歯 科医を持つ者の 増加 ・定期健診を受 ける者の増加	○																
											3歳児健診受診状況										
											H23 3,863人	H24 3,810人	H25 3,791人	H26 3,303人	平成26年度より、むし歯予 防の啓発として、フッ化物配 合歯みがき剤の積極的な活 用について、啓発強化を図 った。定期的な歯科健診の 定着やフッ化物歯面塗布の 推進を図るために、2歳6か 月時に実施している「フッ化 物歯面塗布事業」の受診率 (H26:48.8%)向上を目指し、 ホームページ等での啓発強 化を図る。	妊産婦から「マイナス 1歳からのむし歯予防 」をテーマに家族ぐる みで「健口づくり」に取 り組めるよう、産婦人 科、小児科など歯科 関連以外の関係機関 との連携を図り、効果 的に予防啓発の強化 を図っていく。					
											対象者数										
											歯科受診者数										
											歯塗布者数										
											受診者数										
											78.6%		82.7%								
											81.0%										

所管課	事業名 *は関係事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度取組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス																																																							
					乳幼児期	学童期	児童期	青年期					高齢期																																																						
保健所 保健健康づくり課	母子歯科保健事業「歯っぴいファミリー作戦！」	<p><地域における依頼の健康教育> 子育て支援センター、地域サロンのにおいて、「育児講座」として地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p><幼稚園・保育園等での歯みがき指導> 幼稚園・保育園の園児を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p>依頼に応じて、保護者へむし歯予防の啓発を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育園 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 相模野医師会 	<ul style="list-style-type: none"> 歯みがき(仕上げみがき)の習慣化 かかりつけ歯科医を持つ者の増加 定期健診を受ける者の増加 	○	△			<table border="1"> <tr><th colspan="4">依頼の健康教育(母子)実施件数</th></tr> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>11件</td><td>3件</td><td>10件</td><td>8件</td></tr> <tr><th colspan="4">実施者数</th></tr> <tr><td>236人</td><td>88人</td><td>264人</td><td>193人</td></tr> <tr><th colspan="4">巡回歯みがき指導実施回数</th></tr> <tr><td>9回</td><td>12回</td><td>30回</td><td>39回</td></tr> <tr><th colspan="4">巡回歯みがき指導実施者数</th></tr> <tr><td>1,487人</td><td>1,806人</td><td>2,997人</td><td>3,056人</td></tr> </table>	依頼の健康教育(母子)実施件数				H23	H24	H25	H26	11件	3件	10件	8件	実施者数				236人	88人	264人	193人	巡回歯みがき指導実施回数				9回	12回	30回	39回	巡回歯みがき指導実施者数				1,487人	1,806人	2,997人	3,056人	<p>巡回歯みがき指導を希望する新規の幼稚園、保育園が増え、多くの園へ関わることが出来、合わせて保護者へも啓発リーフレットを配布し予防啓発が図られた。</p> <p>巡回歯みがき指導をきっかけに、食後の歯みがきを実施している園もある。引き続き、実施することで園での予防意識や保護者への啓発を図る。</p>																					
		依頼の健康教育(母子)実施件数																																																																	
H23	H24	H25	H26																																																																
11件	3件	10件	8件																																																																
実施者数																																																																			
236人	88人	264人	193人																																																																
巡回歯みがき指導実施回数																																																																			
9回	12回	30回	39回																																																																
巡回歯みがき指導実施者数																																																																			
1,487人	1,806人	2,997人	3,056人																																																																
保健所 保健健康づくり課	発芽事業(※)	<p>小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を生むむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導</p> <p>依頼に応じて、保護者へむし歯、歯周病予防の啓発を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健課 小学校 中学校 相模野医師会 	<ul style="list-style-type: none"> 給食後の歯みがき習慣の徹底 食後の歯みがき習慣の徹底 フッ化物配合歯みがき剤の利用の増加 定期健診を受ける者の増加 	○	△		<table border="1"> <tr><th colspan="4">実施校数(他学年の依頼校)</th></tr> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>12校</td><td>23校</td><td>30校</td><td>33校</td></tr> <tr><th colspan="4">他学年依頼の健康教育実施者数</th></tr> <tr><td>1,866人</td><td>2,084人</td><td>2,559人</td><td>2,916人</td></tr> <tr><th colspan="4">12歳児の健康啓発率</th></tr> <tr><td>44.2%</td><td>44.2%</td><td>50.2%</td><td>51.4%</td></tr> <tr><th colspan="4">12歳児のDMF歯数</th></tr> <tr><td>1.67本</td><td>1.49本</td><td>1.28本</td><td>1.19本</td></tr> <tr><th colspan="4">啓発実施者数(全数)</th></tr> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>6,019人</td></tr> <tr><th colspan="4">啓発実施者数(歯・口腔)</th></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>150人</td></tr> </table>	実施校数(他学年の依頼校)				H23	H24	H25	H26	12校	23校	30校	33校	他学年依頼の健康教育実施者数				1,866人	2,084人	2,559人	2,916人	12歳児の健康啓発率				44.2%	44.2%	50.2%	51.4%	12歳児のDMF歯数				1.67本	1.49本	1.28本	1.19本	啓発実施者数(全数)				H23	H24	H25	H26	—	—	—	6,019人	啓発実施者数(歯・口腔)				—	—	—	150人	<p>新たなモデル校を選定し学校、学校医と連携し効果的な取り組みを図る。引き続き、各中学校、小学校へ情報伝達する。</p>		
		実施校数(他学年の依頼校)																																																																	
H23	H24	H25	H26																																																																
12校	23校	30校	33校																																																																
他学年依頼の健康教育実施者数																																																																			
1,866人	2,084人	2,559人	2,916人																																																																
12歳児の健康啓発率																																																																			
44.2%	44.2%	50.2%	51.4%																																																																
12歳児のDMF歯数																																																																			
1.67本	1.49本	1.28本	1.19本																																																																
啓発実施者数(全数)																																																																			
H23	H24	H25	H26																																																																
—	—	—	6,019人																																																																
啓発実施者数(歯・口腔)																																																																			
—	—	—	150人																																																																
保健所 保健健康づくり課	発芽事業(※)	<p>イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内関係各課 市民健康づくり推進員及び企業関係 	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなアクションプランで健康に関する啓発を行う。</p>	○	○		<table border="1"> <tr><th colspan="4">平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていくため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。従来の健康啓発と合わせた効果的な啓発が実施できた。平成27年度は、重点項目の「飲酒」「歯と口腔」について強化していく。</th></tr></table>	平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていくため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。従来の健康啓発と合わせた効果的な啓発が実施できた。平成27年度は、重点項目の「飲酒」「歯と口腔」について強化していく。																																																										
		平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。依頼を受けて実施しており、健康に関する関心が高い市民が中心になっていくため、関心の低い層へのアプローチを実施し、健康への気づきの場を作ることができた。従来の健康啓発と合わせた効果的な啓発が実施できた。平成27年度は、重点項目の「飲酒」「歯と口腔」について強化していく。																																																																	

 各イベント等を活用し、幅広いライフステージに対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせ重点とする場や内容を選択しながら実施する。 | | |

所管課	事業名 *は関係事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果 後の課題と対策及び平成27年度 の取り組みについて	平成26年度の方向性	委員の評価・アドバイス																
					乳幼児期	学童期	思春期	成年期					高齢期															
学校教育 部 学校保健課	健康診断事業	<p><定期歯科健診> 学校医による、全校児童 生徒のうち歯・歯肉・歯列 等の健診の健診 <歯みがき指導> 保健所歯科衛生士によ る至小学校1年生を対象 とした歯みがき指導(学 校保健課で日程・人数調 整)</p>	<p>・学校歯科医 ・保健所</p>	<p>・12歳児のDMF 歯数の減少 ・歯肉炎を有す る人の割合の減 少</p>	学童期	○	思春期	○	成年期	○	<p>定期歯科健診状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>3,271人</td> <td>3,319人</td> <td>3,270人</td> <td>3,326人</td> </tr> </table> <p>受診者数</p> <table border="1"> <tr> <td>DMF歯数</td> </tr> <tr> <td>1.7本</td> <td>1.5本</td> <td>1.3本</td> <td>1.2本</td> </tr> </table>	H23	H24	H25	H26	3,271人	3,319人	3,270人	3,326人	DMF歯数	1.7本	1.5本	1.3本	1.2本	<p>・複数回の歯科検診や、CO への診断された児童生徒 ・GOと診断された児童生徒 への継続検診を実施した。 ・治療率を上げるために、未 受診の家庭へ何度も勧告書 を配付した。 ・意識づけの観点から、歯に 関する標語やポスターの作 成にも取り組んだ。</p>	<p>平成26年度は、若い世代へ のアプローチの一環として、 市内高校、大学へ歯周疾患 予防ポスター掲示による啓 発を実施した。また、成人の つどいにおける栄養グッズ を配布し、歯や口の健康づく りへ関心を高める啓発を実 施した。</p>	<p>平成26年度は、若い世代へ のアプローチの一環として、 市内高校、大学へ歯周疾患 予防ポスター掲示による啓 発を実施した。また、成人の つどいにおける栄養グッズ を配布し、歯や口の健康づく りへ関心を高める啓発を実 施した。</p>	<p>委員の評価・アドバイス</p>
					H23	H24	H25	H26																				
3,271人	3,319人	3,270人	3,326人																									
DMF歯数																												
1.7本	1.5本	1.3本	1.2本																									
保健所 地域健康づくり課	歯周疾患検査事業	<p>対象者(満30、40、50、60 歳)に個人通知を行い、 委託医療機関にて歯周疾 病マニキュア測定等の歯周疾 患検診を実施する。</p>	<p>柏歯科医師 会</p>	<p>・20・30歳におけ る喪失歯のない 人の割合増加 ・20・30歳の進 行した歯肉炎を 有する人の割合 減少</p>	乳幼児期	△	学童期	△	思春期	△	成年期	○	<p>平成27年度は、検診問診票 の発行率を向上し、歯周病 の予防意識を高めるための 啓発活動を行った。また、 歯周病の予防意識を高める ための啓発活動を行った。</p>	<p>検診結果より、若い 世代からの啓発の必 要性が確認できる。 母と子のつどいや依 頼の健康教育等あら ゆる機会をとらえ、歯 周疾患予防の啓発強 化を図る。</p>	<p>委員の評価・アドバイス</p>													

所管課	保健福祉部 地域医療推進室	事業名 *は詳細事業 訪問口腔衛生指導事業 訪問口腔衛生指導補助金	事業概要 (対象者・内容等) ・訪問口腔衛生指導の実施 ・医療機関(病院・歯科医院等)との連絡調整 ・一般市民への啓発センター ・地域包括支援センター等 ・介護者説明及び講演等の実施等への補助事業	連携機関 柏歯科医師会	期待する効果 ・在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けられることにより、口腔機能を維持し、生活の質の向上を図る。 ・市民が、在宅療養状態になっても安心して歯科治療を受けられることのできる環境整備を行う。	ライフステージ 乳幼児期 学童期 思春期 青年期 壮年期 中年期 高齢期	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等) 訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施した方の口腔機能向上 H23 80% H24 80% H25 70% H26 80%	平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度への取り組みについて 平成26年度に歯科介護支援センターの歯科衛生士が実施した訪問口腔ケア実施件数は、277件であった。また、口腔ケアの啓発活動は16回実施できた。多職種との連携会議への参加や研修会の開催により、多職種からの相談が増加している。また、口腔ケアの実施により、誤嚥性肺炎の予防につながるケースも多く、在宅療養者のQOLの向上に寄与した。 平成27年度も多職種との連携の強化充実を支援し、口腔ケアの実施数の増加を図る。また、特区制度による歯科衛生士事務所との位置づけの整理を検討する。	平成28年度の方角性 特区歯科衛生士事務所から、将来的には歯科介護支援センターなどの合流が可能となるように検討を行う。	委員の評価・アドバイス
-----	------------------	--	--	----------------	---	---	--	---	--	-------------

(2) 定期的な歯科健康診査の受診動向

所管課	事業名 *は直接事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果 後の課題と対策及び平成27年度 の取り組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス			
					45歳以下	学童期	思春期	成年期	壮年期					高齢期		
保健福祉部 地域医療推進室	特殊歯科診療事業支援事業	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	公益財団法人 柏市医療公社 柏市歯科医師会	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	H23 1,991人	H24 2,540人	H25 3,206人	H26 3,241人	かかりつけ歯科医と当該診療所の連携体制の強化充実を図れるよう、支援する。		
					過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)	H23 24.8%	H24 23.9%	H25 —	H26 —	20歳	24.8%	23.9%	—			—
保健福祉部 健康づくり課	歯周疾患検診事業 (※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周疾患検査を実施する。	柏市歯科医師会	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)	H23 24.9%	H24 29.1%	H25 30.2%	H26 19.6%	検診を受診した方へ年に1回の定期健診から受診を歯科医師からもアプロロ一手してもらおう、マニュアルにわかりやすく明記し、協力を仰ぐ。	
					20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	—	—	全体(男性)	21.2%	22.1%		

所管課	事業名 *は維持事業	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考案及び平成27年度の取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳幼児	学童期	思春期	成年期	壮年期				
保健所 地域健康づくり課	口腔衛生大会補助金	柏歯科医師会が主催する地域歯科保健医療啓発の一環 ・各種コンクール実施 ・表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画等への補助事業	柏歯科医師会 ・教育委員会	歯や口腔の健康づくりに関心をもち、主体的に取り組む市民が増える。	△	○	○	△	○	H23 1,533人 H24 1,635人 H25 1,924人 H26 928人	平成26年度は柏市民文化会館改修工事のため、本大会は行わず、柏まつりにおいて幅広い世代への啓発を行った。また、図画ポスターコンクール、優秀作品紹介及び啓発チラシ35,000枚を作成し、小・中学校及び公共施設等へ配布した。 平成27年度は本大会を行うが、規模は縮小し、柏まつりでも啓発・啓発チラシの配布も実施していく。	柏歯科医師会との話し合いの結果、より身近な地域での啓発活動実施に向け検討を行い、積極的に実施していく。	
					○	○	○	○	○	H23 62人 H24 64人 H25 91人 H26 77人			
保健所 地域健康づくり課	かしわ歯科相談室	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に感じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	H23 62人 H24 64人 H25 91人 H26 77人	歯・口腔の健康に関する不安をもちつつも受診に踏み切れない方等へ相談を行っている。	今まで同様、利用者のニーズに応じた対応や、より専門性の高い医療機関への紹介を行う。	

7. 糖尿病

(1) 若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防

①糖尿病の指撻を受けた人の割合の減少(成人)

②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合の減少(40歳以上)

③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少(成人)

④じん臓機能障害による身体障害者手帳(総所持者数)の減少

⑤糖尿病医療費(国民健康保険1月あたりの総点数)の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ			実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)			平成26年度取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス															
					5.0未満	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期				H23	H24	H25	H26											
市民生活部 高齢年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定健康指導	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国民健康保険者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健康診査を実施。</p> <p><特定健康指導> 特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定健康指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちはば県民健康予防財団 ・人間ドック、検診実施医療機関 ・JA(ちはば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生労働共同組合連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会議所 	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>							<p>平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度取り組みについて</p> <p>・特定健康診査率・特定健康指導実施率等は11月1日法定報告以降に確定。 ・平成26年度の集団健診において試行した大腸がん検診の同日実施により受診者数が増加したことから、平成27年度は、大腸がん検診の同日実施日を3日から10日に拡充 ・平成26年度より健診記録票に腎機能の指標であるeGFRの表記を追加した。併せて、健診実施医療機関対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。 ・特定健康診査結果が受診勧奨対象者に通知され、通和や電話で医療機関受診を勧奨した。また、専門医による健康講座を地域健康づくり課との共同により実施し、講座受講者を医療機関受診に繋げる等生活習慣病の重症化予防に努めた。</p>	<p>医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>																
市民生活部 保険年金課	国民健康保険事業利用費補助事業(18歳から39歳の健診)	<p>18歳以上の柏市国民健康保険者に対し、申請に基づき健康事業利用費を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健康事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健康事業は平成26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健康診査と同様の健診を実施する。</p>	柏市医師会	<p>被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防</p>						<p>18歳から39歳の健診実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> </table> <p>・受診券発行数72人 ・受診者数42人</p>	H23	H24	H25	H26	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	<p>18歳から39歳の健診者の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。</p>	
H23	H24	H25	H26																									
未実施	未実施	未実施	未実施																									
未実施	未実施	未実施	未実施																									
未実施	未実施	未実施	未実施																									

所管課	保健所 成人健 診課	事業名	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	事業概要 (対象者・内容等)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	連携機関	柏市医師会	期待する効果	メタボリックシン ドロームの予 防、罹患してい る病状の安定や 重症化予防へ の行動が取れる ようにする。	ライフステージ	乳幼児期 学童期 思春期 成年期 壮年期 高齢期	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	受診者数 H23 105人 H24 132人 H25 145人 H26 210人	平成26年度取り組みの成果、今 後の課題と考察及び平成27年度 の取り組みについて	希望者の相談内容に即して アドバイスをを行っている。	平成28年度も、同様に 継続予定である。 ※本事業は、健康診 査が目的の第1であ る。対象者の特性か ら、フォローも慎重に 進めていく必要があ る。	委員の評価・アドバイス
-----	------------------	-----	-----------------------------	-------------------	--	------	-------	--------	---	---------	---	-------------------------	--	---	-------------------------------	---	-------------

(2) 定期的な健康診査の受診
 ① 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加(40歳以上)
 ② 柏市国民健康保険特定健康診査の実施率(法定報告)の増加(40歳以上)
 ③ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)				平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス	
					65歳未満	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	H23	H24			H25
市民生活部 国民健康保険課	国民健康保険特定健康診査・特定健康診査 柏市国民健康保険加入者に対する健康診査の実施率(法定報告)の増加(40歳以上)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の予防を目的とした健康診査を実施。 <特定健康診査> 特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定健康診査を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちはら市民保健予防財団 ・人間ドック・脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生労働局 ・千葉県商工会連合会 ・沼南商工会 ・柏商工会 	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>	7.30%	7.70%	7.70%	7.80%	39.7%	38.2%	40.0%	11月1日以降確定	<p>平成26年度取り組みの成果、今後の課題・考察及び平成27年度取り組みについて</p> <p>・特定健康診査・特定健康診査の実施率は11月1日法定報告以降に確定。 ・平成26年度の集団健康診査により受診者数が増加したこと、平成27年度は、大腸がん検診の同日実施を3日から10日に拡充 ・平成26年度より、健診記録票に腎機能の指標であるeGFRの表記を追加した。併せて、健診実施医療機関を対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。 ・特定健康診査結果が受診勧奨対象者を対象に、通知や電話で医療機関受診を勧奨した。また、専門医による健康講座を地域健康づくり課との共同により実施し、講座受講者を医療機関受診に繋げる等生活習慣病の重症化予防に努めた。</p>	<p>平成28年度の方角性</p> <p>医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>	<p>委員の評価・アドバイス</p>
					18歳から39歳の健康診査の実施状況	7.30%	7.70%	7.80%	39.7%	38.2%	40.0%	11月1日以降確定			
市民生活部 国民健康保険課	国民健康保険事業利用費助成事業(18歳から39歳の健康診査)	<p>18歳以上の柏市国民健康保険者に対し、申請に基づき健康事業利用費を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健康診査、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、お口のクリーニング事業を利用できる。18歳から39歳の健康診査は平成26年度からの新規事業。受診希望者に、特定健康診査と同様の健康診査を実施する。</p>	柏市医師会	<p>被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防</p>	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	<p>受診券発行数72人 受診者数42人</p>	<p>18歳から39歳の健康診査の増加を図る。健康診査結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。</p>		

所管課	保健所 成人健 診課	事業名	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	事業概要 (対象者・内容等)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	連携機関	柏市医師会	期待する効果	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。	ライフステージ	乳幼児期 学童期 思春期 成年期 壮年期 高齢期	実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果、今 後の課題と考察及び平成27年度 の取り組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス
												受診者数	平成28年度も、同様 に継続予定である。 ※本事業は、健康診 査が目的の第1であ る。対象者の特性か ら、フォローも慎重に 進めていく必要がある。		
												H23	希望者の相談内容に即して アドバイスを行っている。		
												H24			
												H25			
												H26			
													105人	210人	
													132人	145人	

8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防		①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少(成人)		②循環器疾患による死亡者数の減少		③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少		④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合の減少(40歳以上)		⑤収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合の減少(40歳以上)		⑥拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合の減少(40歳以上)		⑦【再掲】メタボリックシンドローム【内臓脂肪症候群】の該当者及び予備群該当者の割合の減少(40歳以上)	
----------------------------	--	--------------------------	--	------------------	--	--------------------------------	--	---------------------------------------	--	---------------------------------	--	--------------------------------	--	---	--

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				業績値 (実施回数・参加者数・参加率等)				平成26年度の方向性	委員の評価・アドバイス
					40歳未満	若年層	壮年層	高齢層	(実施回数・参加者数・参加率等)	特定健康診査受診率(再掲)	特定保健指導実施率(再掲)	LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)		
市民生活部 国民健康保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p><特定健康診査> 40歳以上の柏市国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健康診査を実施。</p> <p><特定保健指導> 特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 柏市医師会 ちば県民保健予防財団 人間ドック 脳ドック実施医療機関 JJA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) 千葉県厚生労働共同組合連合会 沼南商工会 柏商工会 	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>	40歳未満	若年層	壮年層	高齢層	H23	H24	H25	H26	<p>平成26年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び平成27年度後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診率・特定保健指導実施率等は11月1日法定報告以降に確定 ・平成26年度の集団健康診査において試行した大陽がん検診の増加したことから、平成27年度は、大陽がん検診と同日実施日を3日から10日に拡充 ・平成26年度より、健診記録票に腎機能の指標であるeGFRの表記を追加した。併せて、健診実施医療機関対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。 ・特定健康診査結果が受診勧奨者を対象に、通知や電話で医療機関受診を勧奨した。また、専門医による健康講座を地域健康づくり課との共同により実施し、講座受講を促し医療機関受診に繋げる等生活習慣病の重症化予防に努めた。 	<p>医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取り組みを推進する。</p>
					男性26.2%	女性35.9%	収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)	男性30.2%	女性23.6%	拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)	男性16.4%	女性9.7%		
市民生活部 国民健康保険年金課	国民健康保険事業利用費助成事業費(18歳から39歳の健診)(※)	<p>18歳以上の柏市国民健康保険者に対し、申請に基づき健康事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健康事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健康事業は平成26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健康診査と同様の健診を実施する。</p>	柏市医師会	<p>被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防</p>					未実施	未実施	未実施	未実施	<p>18歳から39歳の健診の増加を図る。健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。</p>	

(2) 定期的な健康診査の受診
 ①【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加(40歳以上)
 ②【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の実施率(法定報告)の増加(40歳以上)
 ③循環器疾患の増進を受けたが、放置している人の割合の減少(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者、内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ				実績値 (実施回数、参加者数、参加率等)	平成26年度の成果、今後の課題と克服及び平成27年度 の取り組みについて	平成26年度の方角性	委員の評価・アドバイス																																		
					40歳未満	学童期	児童期	成人期					壮年期	高齢期																																
市民生活部 生活年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定健康診査受診率(再掲)	<p>＜特定健康診査＞ 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健康診査を実施。 ＜特定健康診査＞ 特定健康診査の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための特定健康診査を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・人間ドック、脳ドック実施医療機関 ・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・沼南商工会議所 ・柏商工会議所 	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>	○	○	<p>特定健康診査受診率(再掲)</p> <table border="1"> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>39.7%</td><td>38.2%</td><td>40.0%</td><td>40.0%</td></tr> </table> <p>特定健康診査受診率(再掲)</p> <table border="1"> <tr><td>14.2%</td><td>18.3%</td><td>18.9%</td><td>同上</td></tr> </table> <p>LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr><td>男性26.2%</td><td>26.10%</td><td>27.40%</td><td>同上</td></tr> <tr><td>女性35.9%</td><td>35.80%</td><td>38.20%</td><td>同上</td></tr> </table> <p>収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr><td>男性30.2%</td><td>27.50%</td><td>26.8%</td><td>同上</td></tr> <tr><td>女性23.6%</td><td>22.20%</td><td>22.20%</td><td>同上</td></tr> </table> <p>拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)</p> <table border="1"> <tr><td>男性16.4%</td><td>15.10%</td><td>15.10%</td><td>同上</td></tr> <tr><td>女性9.7%</td><td>8.50%</td><td>8.80%</td><td>同上</td></tr> </table>	H23	H24	H25	H26	39.7%	38.2%	40.0%	40.0%	14.2%	18.3%	18.9%	同上	男性26.2%	26.10%	27.40%	同上	女性35.9%	35.80%	38.20%	同上	男性30.2%	27.50%	26.8%	同上	女性23.6%	22.20%	22.20%	同上	男性16.4%	15.10%	15.10%	同上	女性9.7%	8.50%	8.80%	同上	<p>平成26年度取り組みの成果、今後の課題と克服及び平成27年度の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診率・特定健康診査実施率等は11月1日法定報告以降に確定 ・平成26年度の集団健康診査の同日実施により受診者数が増加したことから、平成27年度は、大腸がん検診との同日実施日を3日から10日に拡充 ・平成26年度より、健診記録票に腎機能の指標であるeGFRの表記を追加した。併せて、健診実施医療機関を対象に腎臓病専門医による研修会を実施し、慢性腎臓病(CKD)対策を推進した。 ・特定健康診査結果が受診勧奨対象者に対し、通知や電話で医療機関受診を勧奨した。また、専門医による健康講座を地域健康づくり課との共催により実施し、講座受講者を医療機関受診に繋げる等生活習慣病の重症化予防に努めた。 	<p>医療機関や衛生部門等、関係部署との連携により更に生活習慣病の発症、重症化予防の取組みを推進する。</p>	委員の評価・アドバイス
								H23	H24	H25	H26																																			
								39.7%	38.2%	40.0%	40.0%																																			
								14.2%	18.3%	18.9%	同上																																			
								男性26.2%	26.10%	27.40%	同上																																			
								女性35.9%	35.80%	38.20%	同上																																			
								男性30.2%	27.50%	26.8%	同上																																			
								女性23.6%	22.20%	22.20%	同上																																			
								男性16.4%	15.10%	15.10%	同上																																			
								女性9.7%	8.50%	8.80%	同上																																			
市民生活部 生活年金課	<p>18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき健康事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から39歳の健康事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業に利用できる。18歳から39歳の健康事業は平成26年度からの新規事業。受診希望者に、特定健康診査と同様の健診を実施する。</p>	柏市医師会	<p>被保険者の健康増進 若くは世代からの生活習慣病予防</p>	○	○	<p>18歳から39歳の健康事業実施状況</p> <table border="1"> <tr><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr> <tr><td>未実施</td><td>未実施</td><td>未実施</td><td>未実施</td></tr> </table> <p>・受診券発行数72人 ・受診者数42人</p>	H23	H24	H25	H26	未実施	未実施	未実施	未実施	<p>平成26年度新規事業である18歳から39歳の健康事業については、実施医療機関への説明及びマニュアル配付により、概ね混乱なく実施できた。若年層からの生活習慣病予防対策として、更に利用拡大を図る。</p>	<p>18歳から39歳の健康事業の周知に努め、受診者数の増加を図る。健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関受診勧奨を推進する。</p>	委員の評価・アドバイス																													
							H23	H24	H25	H26																																				
							未実施	未実施	未実施	未実施																																				

所管課	保健所 成人健 診課	事業名	柏市健康診 査(無保険 者) (*)	事業概要 (対象者・内容等)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	連携機関	柏市医師会	期待する効果	内臓脂肪症候 群の予防、罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)		平成26年度取り組みの成果、今 後の課題と考察及び平成27年度 の取り組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス				
										40歳未満	学童期	児童期	思春期	成年期	壮年期	老年期	高齢期	H23	H24	H25	H26	平成28年度も、同様 に継続予定である。 ※本事業は、健康診 査が目的の第1であ る。対象者の特性か ら、フォローも慎重に 進めていく必要があ る。	委員の評価・アドバイス
																	105人	132人	145人	210人			

9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及

①がんによる死亡者数の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みの成果 後の課題と考察及び平成27年度 の取り組みについて	平成28年度の方角性	委員の評価・アドバイス
					乳がん期	学童期	思春期	成年期	老年期				
保健所 総務企 画課	がん対策	・がん対策検討会議(議 員および行内関係部署、 がん診療連携拠点病院) の開催 ・議会への事業報告 ・保健衛生審議会への報 告	・市内関係部 局 ・がん診療連携 拠点病院 ・柏市医師会 等	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	H23 5回 H24 4回 H25 4回 H26 4回	相当部署、関係機関と定期 的に会議を開催し、連携機 構を進め、情報共有のもと 連携した事業を実施。	平成28年度において も継続し、更なる充実 を図る。		
保健所 保健予 防課	柏市緊急肝 炎ウイルス 検査(平成28 年より肝炎 ウイルス検 査に名称変 更)	柏市民で、これまで肝炎 ウイルス検査を受けたこ とがなく、他で検査を受 ける機会のないかた、感 染を心配するリスクが高 くなったかたを対象に検 査を実施	柏市医師会	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	H23 1,141人 H24 1,444人 H25 1,182人 H26 7,685人	40~80歳の5歳刻みの年齢 に個別勧誘を行った。	継続実施			
保健所 成人健 診課	がん検診推 進事業(無料 検診)	特定の年齢のかたに無 料クーポン、検診手帳 (啓発用)を送付し、該当 するがん検診について、 無料で受診することがで きる。 対象となるがん検診は、 大腸、乳、子宮頸がん検 診	・柏市医師会 ・ちば県民保 健予防財団 ・医療センタ ー	○ △ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	H23 13.5% H24 12.8% H25 14.1% H26 9.6% 大腸がん 19.6% 子宮がん 26.4% 28.6% 25.3% 9.5% 18.1% 8.1%	乳、子宮は、平成25年度で 通知対象が一巡した。 対象がん検診の受診率を約 5%向上させた成果があった が、継続受診に結びついて いない。 平成26年度は、乳、子宮の 受診者を自動的に登録し、 継続受診を促していく予定。	国の方針にのって実 施しているため、国の 動きを把握しながら実 施していく。			
保健所 成人健 診課	成人健診事 業(健康づく り普及啓 発)	がん検診登録制度、が ん予防の啓発を目的に、 各種媒体を利用、特定の 年齢・転入者等には個別 通知。 王子ル地域を設定し、健 康講座の実施など重点 的に普及啓発活動を行 っている。	・ふるさと協議 会 ・柏市医師会 ・市内関係部 局 ・専門医療機 関	○ △ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	H23 32,362人 H24 23,546人 H25 29,077人 H26 26,129人	新規登録者の伸び悩みが 課題であり、子宮がん検診 において、メール配信を利用 しての登録勧誘を行ったこと も、新規登録者が増加。 今後、電子媒体を活用し、 た勧誘方法を計画していく。	従来の啓発活動に加え、 え、スプリングレディユ ーの結果を踏まえ、 子宮頸がん検診の受 診率向上対策を重点 的に進めていく予定。			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	平成26年度取り組みについて	平成28年度の方向性	委員の評価・アドバイス					
					乳がん	子宮がん	大腸がん	胃がん	肺がん	乳がん									
保健所 地域健康づくり 課	啓発事業 (※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	・市内関係各課 ・柏市民健康づくり推進員 ・各種団体及び企業関係	幅広いライフステージの市民を対象にポピュラーなアクションプログラムを実施することにより、健康づくりの意識を高め、がんの予防意識を醸成する。	乳がん	子宮がん	大腸がん	胃がん	肺がん	乳がん	H23	H24	H25	H26	平成26年度取り組みの成果、今後の課題を考察及び平成27年度後の取り組みについて	平成26年度新規事業として新たなイベントへの啓発参加に積極的に取り組んだ。これまででの健康教育は、依然として健康づくりの中心となっており、健康づくりの意識を高めることができた。従来健康づくりの場を創出することができた。平成27年度は、がん関係の啓発も実施した上で、重点項目の「飲酒」面と「口腔」については強化していく。	各イベント等を活用し、幅広いライフステージに対して健康づくりのきっかけ作りになる啓発を実施する。イベント参加者層に合わせ重点とする場や内容を検討しながら実施する。	委員の評価・アドバイス	
					12.4%	19.5%	22.3%	28.4%	16.4%	11.1%	19.4%	20.5%	28.3%	18.0%					15.1%
					がん受診率														
					胃がん検診														
					大腸がん検診														
子宮頸がん検診																			
保健所 成人健康課	がん検診	「がん検診重点健康教育及びがん検診の受診のための指針」(厚生労働省)に基づき、胃、大腸、結核、肺、乳、子宮の各がん検診を実施	・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・医療センター	各がんの早期発見、早期治療に結びつける。	乳がん	子宮がん	大腸がん	胃がん	肺がん	乳がん	H23	H24	H25	H26	大腸を除き、受診率は減少傾向にある。実施通知が行っても、既に医療機関で受診した、自覚症状がある、受診中などの理由でキャンセル者が多いことも一因であると考え、がん検診の推進や受けやすい検診の工夫、登録勧誘を行った。	受診率向上対策としての無料検診、スプリングレビュー結果としての子宮頸がん検診受診率向上対策など、啓発の推進と受けやすい検診の実施を計画していく。			
					13.5%	26.4%	19.6%	11.9%	19.3%	23.3%	29.6%	16.5%	18.0%	15.1%					
					がん検診														
					胃がん検診														
					大腸がん検診														
保健所 成人健康課	がん検診 推進事業(無料検診) (*)	特定の年齢のかたに無料クーポンを送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができ、対象となるがん検診は、大腸、乳、子宮頸がん検診	・柏市医師会 ・ちば県民保健予防財団 ・医療センター	がん検診を受けつつ、今までの受診したことがない人が受診することにより、受診率向上に寄与する。	乳がん	子宮がん	大腸がん	胃がん	肺がん	乳がん	H23	H24	H25	H26	乳、子宮は、平成25年度で通知対象が一巡した。対象がん検診の受診率を約5%向上させた成果があったが、継続受診に結びついていない。平成26年度は、乳、子宮の受診者を自動的に登録し、継続受診を促していく予定。	国の方針に応じて実施しているため、国の動きを把握しながら実施していく			
					13.5%	26.4%	19.6%	11.9%	19.3%	23.3%	29.6%	16.5%	18.0%	15.1%					
					がん検診														
					胃がん検診														
					大腸がん検診														